

## 山形県の古木・名木 No.86

# 皇壇スギ (おうだんすぎ)

鶴岡市大網字岩台167

今から約千八百年前、景行(ケイコウ)天皇の皇子、御諸別(ミモロワケ)皇子が奥羽巡錫の折、旧大日坊境内地に逗留せられました。皇子は、大網村と田麦村の境界にいる数百羽の鷹の羽根を弓矢の風切りとして朝廷に送り続け、朝廷からお礼としてこの地を出羽国大網と名づけられ、皇子の居住地となりました。

皇子は、この地で御遷化なされ墓所に植えられたスギが皇壇スギと言われ、昭和30年8月1日に県指定天然記念物に指定されています。

高さ約27m、根回り約8m、枝の長さは東西・南北とも約22mあります。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



**皇壇スギ**  
この辺一帯は昔の大日坊の境内です。  
このスギの大木が皇壇スギです。高さ約27メートル、根回り約8メートル、枝の長さは東西・南北とも約22メートルあります。  
皇壇とは、景行天皇の御子御諸別皇子がこの地で亡くなり、そのお墓に植えられたという伝説によるものです。  
昭和30年8月1日、県指定天然記念物になりました。  
鶴岡市教育委員会

【森林やまがた111号(2007年9月)記載】